

<p>件 名</p>	<p>平成 2 3 年度当初予算編成について</p>
<p>経 過 ・ 現 状 政 策 課 題</p>	<p>【現状】 現下の経済情勢を勘案すると、急速な景気回復による税収増は見込めず、また少子高齢化の進展による社会保障関係経費の増加などにより、平成 2 3 年度当初予算編成では、今年度を上回る財源不足が予想される。 来年度は、今後 1 0 年間のまちづくりの方向性を示す「堺市マスタープラン」の初年度となり、新たなまちづくりを進めるうえで重要な年となる。 今年度予算から、「堺活力再生プロジェクト（案）」の重点項目のみを対象に予算編成過程の見える化を実施したが、開かれた市政の実現に向け、一層の推進が必要である。</p>
<p>対 応 方 針 今 後 の 取 組 （ 案 ）</p>	<p>【予算編成方針】 「断固たる行財政改革」を基本姿勢とし、すべての施策・事業を総点検するなど徹底的にムダをなくす。 「堺市マスタープラン」の理念を実現するため、選択と集中の下で限られた経営資源を重点かつ効果的に投入し、都市活力の向上を図る。 予算編成過程の見える化を進め、より一層、市政の透明性の確保や説明責任の徹底を図る。</p> <p>【取組内容】 （断固たる行財政改革） 予算要求に当たっては、スクラップアンドビルドを原則とする。 今年度、実施した「みんなの審査会」対象事業だけでなく、その他の一般施策についても、審査会の評価・意見も参考に各局が自己点検を行うとともに、総務局及び財政局においても総点検を実施し、できる限り予算に反映する。結果、全体で 5 % 以上の経費の削減を図る。 人件費については、要員管理計画の推進により、見直しを図る。 外郭団体の見直しについては、市と団体との役割分担を明確化するなど、見直しを図る。</p>

	<p>事務管理経費は、3%削減して予算要求するものとする。</p> <p>(マスタープランの実現)</p> <p>市民・子ども・産業・まちが元気な堺の実現に向け、特に「堺市マスタープラン」骨子案に示されている「子育てのまちづくり」、「歴史文化の再生」、「環境と産業が調和する低炭素都市の実現」の3つのプロジェクトに重点的に取り組む。</p> <p>(予算編成の更なる見える化)</p> <p>予算編成過程の見える化について、よりわかりやすく伝わるよう公開書類の改善を行うとともに対象項目を拡大する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規・拡充項目(改善) <p>事業の詳細が把握できるように事業調書の改善や追加説明資料の添付を可能とするとともに、各段階での査定の考え方を追加し公開する。</p> ・その他一般施策(約550項目) <p>予算要求の内容や事業の総点検における方向性を示すとともに、事業をどう評価し査定を行ったのかを公開する。</p> ・みんなの審査会(32項目) <p>みんなの審査会の意見はどのようなものであったか、その意見をどう捉えて予算要求を行ったか、事業をどう評価し査定を行ったのかを公開する。</p> <p>【スケジュール】</p> <table border="0"> <tr> <td>予算要求締切</td> <td>10月下旬</td> </tr> <tr> <td>財政課長内示</td> <td>12月下旬～</td> </tr> <tr> <td>市長査定</td> <td>1月中旬～</td> </tr> </table>	予算要求締切	10月下旬	財政課長内示	12月下旬～	市長査定	1月中旬～
予算要求締切	10月下旬						
財政課長内示	12月下旬～						
市長査定	1月中旬～						
効果の想定							
関係局との政策連携	総務局ほか各局						